

下記の業務について、一般競争入札を行うので、静岡県財務規則（昭和39年静岡県規則第13号）第34条の規定に基づき公告する。

令和4年6月7日

静岡県知事 川勝平太

1 入札執行者

静岡県立榛原高等学校長 鈴木 安雄

2 担当機関

〒421-0422 静岡県牧之原市静波850

静岡県立榛原高等学校

電話番号 0548-22-0380

3 競争入札に付する事項

(1) 入札番号

第2号

(2) 業務名

令和4年度静岡県立榛原高等学校外1校GHPエアコン保守点検業務委託

(3) 業務場所

静岡県牧之原市静波外1地内

(4) 業務概要

静岡県立榛原高等学校及び静岡県立吉田特別支援学校のGHPエアコン保守点検業務

(5) 業務期間

令和4年6月22日から令和5年3月1日まで

(6) 入札方法

総価による。

落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の110分の100に相当する額を入札書に記載すること。

4 入札参加に必要な資格

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。

(2) 静岡県における庁舎等管理業務競争入札参加資格において、営業細目「設備保守管理」における営業細目のうち「空気調和設備」について競争入札参加資格を有していること。

(3) 静岡県の庁舎等管理業務委託業者入札参加停止基準に基づく入札参加停止期間中の者でないこと。

(4) 本社の所在地が静岡県内にあること。

(5) 平成23年4月1日以降に、静岡県内において空気調和設備等の点検を、誠実に履行したと認められる実績を有すること。

(6) 本業務を実施するにあたり冷凍機械責任者、冷凍空気調和機器施工技能士等、本委託を管理できる技

術を有する者として1人以上の正規従業員を有していること。

- (7) 中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）に基づき設立された事業協同組合が参加する場合にあつては、当該事業協同組合の組合員でないこと。
- (8) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者（更生手続開始の決定を受けているものを除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（再生手続開始の決定を受けているものを除く。）でないこと。
- (9) 次のアからキまでのいずれにも該当しないこと。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）

イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者

ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者

エ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者

オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者

カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者

キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

5 仕様書及び入札説明書の配布期間、配布場所及び配布方法

(1) 配布期間

公告の日から令和4年6月16日（木）までの日（土曜日及び日曜日を除く。）の午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時30分までとする。

(2) 配布場所

上記2に同じ

(3) 配布方法

無償交付で直接行うものとする。

6 入札参加資格確認資料の提出

本入札に参加を希望する者は、入札説明書に示す方法により入札参加資格確認資料を令和4年6月17

日（金）午後4時30分まで（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）に入札説明書の配布場所に提出すること。

7 入札手続等

(1) 入札執行日時

令和4年6月21日（火）午前10時00分

郵送又は電送による入札は、認めない。

(2) 入札執行の場所

静岡県牧之原市静波850 静岡県立榛原高等学校 会議室

(3) 入札保証金及び契約保証金

免除

(4) 入札の無効

本公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び入札に関する条件等に違反した者のした入札は無効とする。

(5) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

(6) 再度の入札

予定価格の範囲内の有効な入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。

(7) 契約書作成の要否

要

8 その他

(1) 入札及び契約手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 詳細は入札説明書による。

(3) 県と契約をするに当たり、労働関係法令を遵守する旨等を記載した誓約書（定型様式）を提出すること。

(4) 契約に基づく業務の一部を他の者に行わせようとするときは、全ての下請負者から労働関係法令を遵守する旨等を記載した誓約書（定型様式）を提出させ、その写しを契約担当者に提出すること。